

平成21年度 会津地区指導者講習会 開催レポート

今年度、県内講習会としては最初となる会津地区指導者講習会が8月29日（土）・30日の両日、会津若松市あいづドームにて、昨年に引き続き皆呂充亮氏を講師に向かえて開催されました。小中学生および指導者を合わせて、昨年の2倍以上となる約170余名の参加がありました。



開講式：小椋功会津連盟会長の挨拶



講師は昨年に引き続きナロさん

1日目はフォアストロークの全体素振り→ストロークボード打ちと進みました。去年からのバージョンアップ?でしょうか。右下の写真、ナロさんの非常にきれいなフィニッシュが写っています。フォアストロークは、素振りから終始、左手をポイントにして進みました。トップの位置で左手を右脇に差込み、左手で10時の高さまでフィニッシュに持っていくものでした。そのフィニッシュが右下の写真です。体の回転補助と肘の高さをつける一石二鳥のやり方かと思いました。



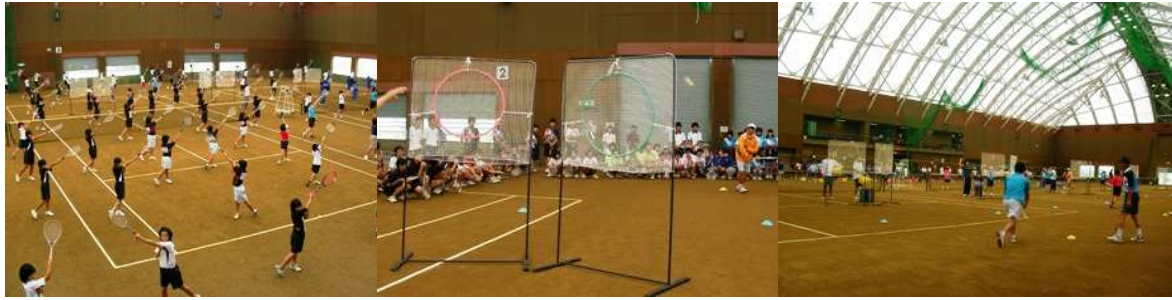
次に、フットワークの説明。ボールの空間認識、ワンバウンドボールをどこでどんな形で捕るのか、それがどんなインパクトにつながるのか丁寧に説明されていました。



初日、最後はバックハンドストローク。全体素振りの前に、ハンザイの形を作って左手で「のぞき窓」。そのフィニッシュを体に覚えこませてから全体素振り。1本打ちまで進んだところで、1日目を終了。



2日目は、昨日の復習とストローク：フォア&バックの2本打ちから。



午前中はサービス講習。全体素振りから。その後、ボール投げ。徐々に投げる距離を伸ばすメニューのあと、タイミングと打点の確認、回転で入れるラケット面の説明のあと、全体練習と進みました。



午後は、前衛と後衛に分かれての練習。
前衛は、ボレー&スマッシュ。ボレーはしっかりと面を作って、走り込むボレー。



後衛は、2コートに別れてのローテーションストローク。シュートの上げボールのあと、ノーバウンドのローテーション。しっかりと体を回し、振り切ることを意識しての練習となりました。



閉講式でのナロさんの挨拶。子供達の話聞く時のラケットの持ち方はナロさんの講習会での見慣れた風景です。今回も、恒例のお説教(?)満載でしたが、なにより、ナロさんの「2日間で自分の中で奇跡の起きた人?」の問い掛けに、ほぼ全員が手を上げたことに、この2日間の成果があり、一生懸命に子供達のために汗をかいたナロさんの気持ちが届いた瞬間かと思いました。本当にありがとうございました。。来年もよろしくおねがいします。。。